

船橋市障害者スポーツ・レクリエーションの普及・推進

【支援金確定額：200,000円 支援率：49.84%】

記入日：平成25年（2013年）3月14日

■どのような活動をしている団体ですか？

障害者、高齢者等のスポーツ・レクリエーション及び文化等の振興を図ることにより、障害者等の社会参加の促進と健康増進に寄与することを目的としています。主な活動内容は、次の通り

①スポーツ教室の開催

薬円台教室、前原教室の2会場で実施

②第9回車椅子ウォークラリー大会の開催

今年度は雨天の為、中止となりました。

③船橋市障害者スポーツ大会の開催

市バドミントン大会参加、卓球交流大会実施

④障害者スポーツ講習会と普及・開発研究

ボッチャ等の講習、新種目の普及に努めた。



障害者スポーツ・卓球交流大会（2012.10.24 薬円台公民館） 障害者、家族・介助、指導員の3部門で実施。

■支援金をどのように活用されましたか？

①スポーツ教室（75回）、講習会（4回）、車椅子ウォークラリー大会等のPRチラシ作成費と開催案内郵送代

②障害者スポーツのガイドブック作成のPR費用

③障害者スポ・レク協会だよりの発行と郵送代

④スポーツ講習会の講師謝礼、障害者スポーツ用具借入費用

⑤スポーツ安全保険代

⑥協会事務運営の事務用品、パソコン購入代

⑦教室・大会・講習会等の諸費と装飾代等

概ね以上の事業支援に活用しました。

教室、講習会、大会等は参加費を徴収し、協会として自立運営出来るように努めています。



ボッチャ競技講習会：船橋市ボッチャ協会の指導で実践と審判の方法等学びました。

■事業を実施して、どのような成果がありましたか？

スポーツ教室参加者数は、薬円台教室（37回）315名、前原教室（38回）251名でした。

障害者とその家族の皆さんに数多く参加いただき、スポーツを通じた交流が深まりました。また、障害者施設の吹矢・バッキー等指導（13回）、精神障害者の卓球指導（22回）、身体障害者アーチェリーボランティア（48回）、知的障害者ソフトボール交流試合（2回）、高齢者施設訪問（4回）等を積極的に行い、障害者スポーツ指導、スポーツボランティアに努めました。（延べボランティア数は224名）

卓球交流大会には約30名程が参加し熱戦をくりひろげました。また、教室参加者を船橋市バドミントン初心者大会に出場させました。全国障害者スポーツ大会アーチェリー競技には船橋市の代表が選ばれ、役員として協会会員を派遣しました。総じて障害者が地域社会との関わりを広げる機会につながりました。

■今後の活動の抱負について

船橋市には千葉県や千葉市（政令指定都市）のような障害者スポーツ専用施設はありません。障害者自身ももっと積極的におもてに出て、行動することで関係先にいろいろな提案をする必要があります。当協会は、市内のスポーツ団体、障害者団体、スポーツ指導者等と協力し、25年度活動の重点事項として「船橋市障害者スポーツガイドブック」（市内スポーツ施設の障害者利用ガイド）の作成を掲げました。できることから始めよう！をモットーにいつでも、どこでも、いつまでも障害者スポーツがやれる環境づくりに努め、「こんなスポーツあったんだ！」を船橋市内に定着させていこうと思っています。

■問い合わせ先：会長 高橋 久吉（たかはし きゅうきち）

TEL：090-4226-9623

E-mail：jiyuujikan1946@ybb.ne.jp